

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 4月 1日

事業所名 マイスクール@あさひがおか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	環境の構造化に配慮する	個人活動、集団活動の用途に応じて空間を分けながら、対応をしている
	2	職員の配置数は適切である	6	2	職員一人ひとりの体調管理の徹底	体調不良等で配置基準ギリギリの人数で対応した日もあるが、お子様の安全を第一に丁寧に支援していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0		施設内の構造化を意識することで、個々が落ち着いて活動することが出来ている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	毎月の会議の開催	業務改善における実行計画(目標)を立て、達成できているかを毎月振り返り評価している チーム内にはミーティングで共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	利用者、保護者様へ活動に対するニーズ調査を行った	一人ひとりのニーズの把握を無駄にせず、現場での支援に生かしていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	8		今回が指定を受けて初めての公開となるため、事業所について知って頂くツールの一つとして活用していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		第三者評価は今年度実施できていないため、今後は積極的な実施を検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	本社との連携を図り、オンライン研修を定期的に実施している	虐待防止に関する研修や感染症や防災の研修を実施し、個々のスキルアップに繋げている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	支援内容がチームでぶれないようミーティングで対応方法を随時検討する	保護者様とのモニタリング(面談)の機会を活用し、利用児童の状況把握に努めている 相談支援員とのモニタリング調整、内容の共有を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		現在の状況を把握するために、事前に保護者様にも協力を求め、アンケートの実施を行い状況の把握に努めている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	活動内容や個々の心理的な変化や課題等の共有をチーム内でやっている	利用者や保護者様の要望を叶えていけるよう、活動がマンネリ化しないようプログラムについてはチーム内でその都度検討し実施している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0		日々のプログラムの作成、立案については全体で共有し、利用者の特性や活動レベルに応じた形で無理をさせ過ぎないように安全面を最優先し課題を設定している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0		日々の利用者への支援内容について社員間で打ち合わせを行い、未然に利用者の行動面等を予測しながら対応方法を検討している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0		社員間での打ち合わせや申し送りの内容に関しては共有ツールとしてLINEを活用し、情報が抜けがないよう配慮している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		全員が個別支援計画書の支援内容について理解できていない部分もあり、趣旨がずれてしまわないよう、その都度職員間で修正を行っている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0		報告・連絡・相談をする意識を高め、全職員で情報共有できるよう話し合いを充実していく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	3		タイムリーに保護者様に事業所での情報を提供し、今後の計画についても家庭や学校での様子を踏まえて実践する
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2	管理者、児童指導員の二人体制で会議に参画している	基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、そこでの情報の共有はチーム全体に周知している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0		学校とは連絡を取りその都度対応しているが、情報量が少ないため、今後は密に情報交換をしていきたい

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	8	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は主治医と連携を密にしているよう体制作りを行う
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4	相談支援員を通して情報共有を行っている 他事業所とも連絡を密にし、利用者の支援内容の共有を図る
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	卒業する利用児童については保護者の同意を得ながら、支援状況の共有を行い、引き継ぎについても慎重かつ丁寧に行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	8	電話連絡などによる相談支援所を通して情報共有は行っているが、研修については受講できていない為、今後は検討していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	放課後児童クラブや児童館との交流は少ないが、今後機会があれば参加していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	4	地域の子育て会議などの集まりにも積極的に参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	保護者への申し送りや、LINE、電話、連絡帳の記入などに関しては、今後も引き続き丁寧に伝えていく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2	モニタリングの機会に限らず、定期的に様子を伺う中で、家族を包括的に支援する また、保護者様と共に積極的に意見交換を行い、困りごとを共有し、支援の統一化を図る
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	殆どは対応できているが、利用休止中の児童に関しては電話での聞き取りやアンケートを実施するといった形に止まってしまっている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	どんな些細なことでも連絡、相談してもらえよう丁寧に伝えている 対応が後手にならないよう、今後も迅速な対応を心掛けていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	保護者様からのニーズがないため、現在は開催していない 必要に応じて検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	苦情にならないよう日々注意しているが、苦情があった時は早急に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月定期的に事業所独自の新聞を作成し、活動概要について掲載している 毎月のイベントを取り上げながらLINEやインスタにて様子を保護者様に発信している
	35	個人情報に十分注意している	7	1	個人情報の取り扱いについては、最大限配慮し取り組んでいる
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	一人ひとりのお子様合った意思の疎通を行い、配慮している 活動内容を動画や静止画で保護者様に随時配信している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8	地域住民を招待するといったイベントは開催していないが、地域の皆様の協力に支えられながら色々なことをチャレンジすることができている
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	各種マニュアルに関しては必要に応じて書面で配布しているよう努めている
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	利用者も含め非常災害の発生に備えて避難訓練を計画し定期的に実施しているが、開催頻度も少なく、全員の利用者を対象には実施出来ない
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	会社全体でオンライン研修を実施している 虐待防止に関する研修を実施し、日々の支援の見直しの際にも意識して取り組んでいる
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	個別支援計画書にも項目として記載し、保護者様にもモニタリングの際に抜けなく伝えている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	8	保護者からの情報のみであり、主治医からの情報は直接得られていない 食材などの取り扱いについては慎重に対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	会社全体で共有している ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しながら、再発防止に努めている 職員の位置取りやお子様を見るポイントなども併せて共有している